

### 3. 平成 29 年度 JCCLS 標準採血法検討委員会活動報告

## Committee Report on the Standard Procedure for the Blood Collection in 2017

渡邊 卓 (JCCLS 標準採血法検討委員会委員長、杏林大学医学部教授)

Takashi Watanabe (Chairperson of JCCLS Committee on the Standard Procedure for the Blood Collection, Professor, Kyorin University School of Medicine)

大西 宏明 (JCCLS 標準採血法検討委員会委員、杏林大学医学部教授)

Hiroaki Ohnishi (Member of JCCLS Committee on the Standard Procedure for the Blood Collection, Professor, Kyorin University School of Medicine)

委員 (五十音順、敬称略)

雨宮みち、大西宏明、川合陽子、高木博規、  
谷口嘉朗、千葉正志、東克己、米山彰子、  
渡邊卓

オブザーバー：村西泰法、渡辺清明

標準採血法検討委員会では、平成 23 年 1 月の標準採血法ガイドライン第 2 版 (GP4-A2) 発行後、関係各界からの反応を分析し、またその後得られた採血法に関する新たな知見を取り入れ、今後のガイドラインの改訂の方向性を検討してきた。

#### 1. 標準採血法ガイドライン改訂版の発行について

平成 29 年 12 月 14 日に、委員会が開催された。前回までの委員会での議論や、本年 4 月に発行された CLSI の新ガイドラインの内容などを踏まえた具体的な改訂案が提示された、細かな点も含め活発に議論が行われた。

また、読者の理解を助けるために本文中に適宜挿絵や写真を入れることが提案された。

文献については、前回と同様のフォーマットで、掲載量を増加させることとなった。その後、メールでのやりとり

を通じて細かい修正作業を行い、平成 30 年 4 月 19 日の平成 30 年度第 1 回委員会において最終案を提示する。それをもとに、理事会に諮問し、パブリックコメントを募る作業を平成 30 年度のなるべく早い時期に行う予定とする。

#### 2. ポケット版の作成について

医療機関や学校単位での普及のみならず、技師や看護師個人へのガイドラインの普及のために、内容のエッセンスを抜粋したポケット版を別途作成することが提案され、その方向で検討を進めることとなった。但し、ポケット版のみが普及して正規版の普及が妨げられることは好ましくないため、まずは正規の改訂版を発行し、その後ポケット版の作成作業に着手する予定となった。現時点ではポケット版の発行予定期日は未定である。

#### 3. ガイドラインの増刷

現ガイドラインの残部が約 300 部となった。改訂版の発行時期を考慮し、必要に応じ追加の増刷を行う予定とする。